



経歴

シンディ・ヘンスリー・マケイン
国連世界食糧計画（国連WFP）事務局長



シンディ・ヘンスリー・マケインは、2023年4月5日に国連世界食糧計画（国連WFP）事務局長に就任しました。豊富な専門知識と、飢餓と栄養不良をなくするための確固たる決意を持ち職務を遂行しています。国連WFP事務局長への就任前は、ローマを拠点とする国連機関の米国常駐代表を務めていました。

40年にわたる、著名な人道主義者、ビジネスリーダー、外交官としてのキャリアの中で、マケインは、貧困の削減、持続可能な開発と平和の推進に焦点を当てた幅広い活動を推進してきました。また世界各地をまわり、国連WFPが運営する多くのプログラムをはじめ、人道支援活動の最前線を訪れ、支援によって生活を変えることができた人びとから学んできました。

国連WFPの事務局長として、マケインはその幅広い経験を生かし、世界的な食料危機への対応を指揮します。紛争、気候変動、経済ショックによって、飢餓はかつてない水準にまで拡大しています。困窮している人びとに支援を届けるためには、資金の調達と人びとの関心を高めることが不可欠です。マケインは、国連WFPの人びとの命を救う使命を遂行するために、長年のドナーからの支援を呼びかける努力の先頭に立ち、野心的で新しいパートナーシップの構築に取り組んでいます。

マケインは、これまで数多くの組織で役員を歴任してきました。アリゾナ州立大学マケイン国際リーダーシップ研究所評議員会の元理事長として、同研究所が注力をする、安全保障、経済的機会、自由、人間の尊厳に基づくグローバルリーダーシップの推進を監督しました。また、同研究所の人身売買諮問委員会の委員長も務めています。

マケイン研究所での活動に加え、プロジェクトC.U.R.E.、CARE、Operation Smile、Halo Trust の理事を務め、Too Small To Fail および Warriors and Quiet Waters の諮問委員会の理事を務めました。

マケインは、南カリフォルニア大学で教育学の学士号と特別支援教育学の修士号を取得しています。

家族経営のヘンスリー・ビバレッジ・カンパニー（アンハイザー・ブッシュの全米最大級の販売代理店）の会長も務めました。マケインは、故ジョン・マケイン上院議員の妻でもあります。ふたりの間には4人の子どもがいます。